



ゴールドパス

絶体絶命の中に開かれる奇跡の道

The Golden Path

高橋佳子

全国の読者から寄せられた
感動の声！

「どうしてこんなことが実現できたのか、今でも信じられない」

「このやり方、この順序でなければ、絶対にうまくいかなかった」

まるで未来から逆算してすべての難所をクリアし、

パズルのすべてのピースが見事にはまってしまおうような道、

ゴールデンパス(The Golden Path)——。

それは、起死回生の道であると同時に、すべてを輝かせる道。

単なる成功物語ではなく、勝つことによって負ける人を生まない道。

勝ちの中にしかない道ではなく、負けの中にもある道。

始まる前は、そんな道があるとは考えられなかったのに、

後から振り返ると、それ以外の道は考えられない道——。

ゴールデンパスとは、まさに奇跡の黄金の行路なのである。

世界中を震撼しんかんさせた新型コロナウイルスのパンデミックは、人々の生活や仕事のあり方を根本的に変えてしまったと言っても過言ではありません。これまでの常識や価値観が通用しないアフターコロナの時代に向かって、世界は今、大きく揺れ動いています。

そのような中、小社では、2021年2月、『ゴールデンパス——絶体絶命の中に開かれる奇跡の道』(高橋佳子著)を出版いたしました。

お陰様で、6月には8万部を突破し、日々、全国の皆様から本当にたくさん読者カードを頂いています。

その1枚1枚を拝見するたびに、コロナ禍の中、多くの人々が、本書が示す『ゴールデンパス』——絶体絶命の中に開かれる奇跡の道——を切実に求め、その道を歩むことを願われていることを感じずにはいられません。

ません。

この小冊子は、そのようなお声の一部を抜粋してまとめさせていただきました。

この機会に、1人でも多くの方が『ゴールデンパス』を手にされ、その人生において、ひとすじの光り輝く道——ゴールデンパスを歩んでゆかれることを心から願ってやみません。

2021年7月

三宝出版編集部

『ゴールデンパス——絶体絶命の中に開かれる奇跡の道』

(高橋佳子著) に寄せられた全国の読者からの感動の声！

●「未来のことはわからないから、生きてゆくのは大変だ」と思っていました。でも、『ゴールデンパス』を読んで、未来は思い描くものだと知り、希望の灯が見えました。そして、わずかながら、本当に未来のことが見え始めたような気がします。元気をもらいました。(北海道・

50代女性)

●とてもためになりました。山あり谷ありの人生、底辺に向かう流れの一步手前でも、方向性を変えてゆけると思いました。周りから

のアドバイス、意見、それらを吟味して、自分自身の心をチェンジしてゆくこと。そうすれば、必ず目標へ向かってゆくことができる。とても勇気づけられました。(石川県・50代男性)

●「あなたは世界をありのままに見ているだろうか」と、問いを突きつけられた気持ちです。どのような事態にあっても、暗転ばかりではなく、可能性もあるのだから、希望を捨てずに、自分のできること、やるべきことをまっすぐに行いたいと思いました。(和歌山県・30代女性)

●このコロナの絶体絶命のとき、本当に必要な1冊だと思います。「必ず1本の道はあるのだ」と確信できました。そして、その道をどの

ように歩むのか、具体的に書かれているので、この本を読めば、どんな人も、人生が変わるのではないかと思えてきました。大切な人にプレゼントしたい1冊です。私は、友人と親戚にプレゼントします。(北海道・

20代女性)

●読んでみると、どんどん引き込まれてしまいます。ページをめくるたびにびっくりするほど、驚きと感動です。これから何度か読んで、自分が感じていることをしっかりと理解してゆきたいと思います。(兵庫県・

50代男性)

●コロナ禍の中で、日常生活を維持することや、夫婦の仕事関係や健康を保つことなど、いろいろなことに不安を感じていましたが、このとき、本書を読んで、**元氣とパワーを注入してもらい、新しい一歩を踏み出す勇気を頂きました。**今、「まさかの時代」に、この本の指針ならって前に進んでゆこうと強く決意しました。(千葉県・50代女性)

●読み進めてゆく中で、大切なことに気づかせていただきました。私は、2人の子を亡くしました。子育てでも、難しいことばかりでした。もっと早くこの本に出会っていたらばどんなによかったことか。**嫌なことがやってきても拒否するのとなぐ、「これは必要なこと」「これが自分にとって大切なこと」と**思えたに違いありません。これから、この本に書いてあるような生き方を追求してゆきたいと思います。(山梨県・60代女性)

●必ず1本の最善の道があるのですね。人・もの・出来事の受けとめ方をしっかりと見てゆきたい。私はどうやら「苦・衰退」です。その自分の心を転換して変えてゆく中にゴールデンパスはあると感じました。(大阪府・60代男性)

●会社や家庭で困難な問題に直面すると、逃げたい気持ちになります。まず困難な状況に陥ります。どう行動してよいのか悩み、行動できなくなります。でも、ゴールデンパスの法則を知り実践すれば、状況が一変し、悪い状況から良い状況に転換できることが理解できました。まずは、ウイスタム実践に取り組んでみたいと思います。(岩手県・

50代男性)

●コロナ禍で、八方ふさがりの昨今、大いに勇気や道標を与えてくれる本だと感じました。この本をいつも横に置いて大切にしながら、人生をよりよく生きたいと思えます。講演会にも参加してみたいです。(滋賀県・40代女性)

●私は本を読むのが苦手ですが、タイトルに引き寄せられて、読み始めました。著者の言葉が心に沁みてきて、あつという間に読んでしまいました。心が現実をつくる「内外交流」のことを初めて知りました。幸せは自分の心がつくることがわかり、感謝です。(広島県・70

代女性)

●文章にぐいぐいと引っ張られ、とても心に沁みました。今の世界情勢もよくわかり、人の心の中まで洞察されていて、マクロからミクロまでの内容に驚くばかりでした。コロナ禍で、どう生きてほしいかがわからない人々を導く本ではないかと感じました。勇気と元気が出てきました。孤独を感じている人ほど、読んでいただきたい内容だと思います。(大分県・60代女性)

●この本には、人生の難関に遭遇したとき、いかに立ち直るか、具体的な道しるべが書かれていました。迷い、悩み、絶望することが多い人生ですが、立ち直りへの勇気だけでなく、その方法まで導いてくれて有難いです。苦しさの中から救いの道を見出し、勇気を持つてチャレンジすることができれば、どれだけ人々が救われるでしょうか！その意味で、本書は、人々に勇気と光明を与える内容が、実例とともに記載されていて素晴らしいと思いました。(福岡県・80代男性)

●コロナウイルス感染拡大によって、生きることへの希望を見出すことが難しくなった時代、この本は必携の書であると思いました。絶望の中にあっても、「必ず開かれる奇跡の道があること」を信じて生きるというところが、何よりも未来創造への確かな一歩になると思います。そして、コロナ後の時代を生きる私たちの世代にとっては、本書に書かれていることは「未来地図」そのものだと感じました。数十年先、今を振り返るときが来たとき、「コロナの時代においても希望

を捨てずに生きることができたのは、この本との出会いがあったから」と感じるに違いないと思いました。(石川県・30代女性)

●何億も赤字を出しても大丈夫な会社って、どうやって改善したのか、気になっていましたが、「これほどの困難から立ち上がっていったんだ!」とびっくりしました。私は今、CAD(キヤド)の勉強をされていて、「難しいなあ」「やめたいなあ」と思っていたのですが、本書を読んで、あきらめずに勉強することができました。私も、ゴールドパスの道ゆきをたどってゆけるようになりたいです。これは、自分より若い人たちにも読んでもらいたい本です。(岡山県・40代女性)

●著者が言うように、本当に今、「まさかの時代」だと思っています。その「まさかの時代」に、必ずゴールドパスがあるということを、本書を読んで確信できました。(岩手県・60代男性)

●とてもいい本ですね。本にはさまれていた出版案内を見て、著者の本を少しずつ買って読んでみようと思いました。私は、著者の『新・祈りのみち』を毎晩読んで、心を落ち着かせてから眠るようにしています。この『ゴールドパス』も、読んでいるだけで心がすっきりとして落ち着いてきます。(三重県・60代女性)

●「試練の中にひとすじの光輝く道がある」と書かれているように、ひとすじの光を感じました。読んでいると、引き込まれてしまいます。「自分の未来が希望につながりますように。今ここにある問題を乗り越えられますように」と願いながら読みました。この本にあるシートにも取り組んでみたいです。(宮崎県・60代女性)

●若い頃、仕事でお世話になった方からこの本を頂きました。妻と2人で読ませていただきましたが、あつという間に読んでしまい、心が洗われる気がしました。「必ず1本の白い道がある」という言葉がとても力強く、元気が湧いてきました。(岩手県・70代男性)

●自分も今、「試練」と呼べるものが目の前にあります。それを「カオス」と受けとめることで、道は切り開かれてゆくのだと感じました。これまで、著者の本を読んできましたが、いつも「カオス」とおっしゃっていることが、本書を読むと、改めて身に沁みてきました。(福岡県・10代男性)

●自己破産してでも、周りの人たちを守り抜いた話が素晴らしかったです。自分の暗転を受け入れて、人々の魂を守った生き方から共感をおぼえました。そういう生き方もいいなと思いました。

(大阪府・30代女性)

●自分の生き方の助けになる素晴らしい本だと思いました。これからも、このような本の出版を楽しみにしています。(長野県・10代男性)

●本書に登場する方々は、「魂の学」を実践された人たちなんですね。この方たちのように、しっかりと自分の願いを抱いて、日常を生きてゆくことは大切だと思いつつも、忙しさの中で、つい忘れてしまいます。でも、その願いを具体的にイメージし、日常の行動を通して近づいてゆく人たちの歩みを、本書は応援してくれると思いました。

ありがとうございます！(山形県・30代男性)

●私は79歳。86歳の夫の介護をしています。『ゴールデンパス』は書店で知り、夫に読んで聞かせてあげたくなり、購入しました。夫は本が好きで、以前は熱心に本を読んでいたが、今は片目がうつすら見えるだけです。さっそく夫に読んであげたところ、私自身も何度となくうなづくことしきり。夫が聞いてくれるのもうれしくて、今日は6ページも読んでしまいました。すると、私の読んでいる声を娘が携帯に録音し、「聞きたいときにいつでも聞くことができるから」と言って、毎朝出かけてゆきます。この本のおかげで、夫と私と娘がつながっています！(奈良県・70代女性)

●この本を読みながら、人生を振り返ることができました。学生時代の貧困からのささやかな成功は、「あれはゴールデンパスだったので

はないか」と思えてきて、とてもいい勉強になりました。この歳になって、先は短くなってしまうましたが、「**受発色**」と「**ウイズダム**」の勉強をして、今一度、後進たちを激励するために頑張ってみたいと思います。(東京都・80代男性)

●私は、もともとスピリチュアルに興味があつたのですが、本書を開くと、「早く次のページを読みたいー」という衝動に駆られ、あつという間に読み終えてしまいました。次々に問題を抱えてしまう私に、希望を持たせてくれる本で、とても感動しました。私もゴールデンパスを歩んで、向かうべき未来を引き寄せられるようになりたいです。

(北海道・30代女性)

●心の中にある願いや理想が、現実をつくり出してきたことを初めて知りました。「人間はすごい」と改めて感じ、人間が宇宙と自然の法則と共鳴していることに大変納得しました。「信じ念じることの大切さ」「持続する意志」「必然の自覚を持つ」という心構えを知りました。ありがとうございます。(富山県・50代女性)

●30年以上前に、高橋信次という方の本を知り、「これは真実だ」と思い、しばらく勉強していました。何十年の間、書店に行くたびに、横目で高橋佳子さんの本を見ながら、飛び越えていました。でも、今回のコロナ禍で、「これからどうしよう」と思っていたとき、高橋佳子さんの本を手に取り、買って読んでびっくりしました。もっ

と早く読めばよかったです。今、やっと新たな出発です。(愛知県・60代女性)

代女性)

●読み始めたとき、よくわからない言葉があったのですが、毎日少しずつ読んでみると、「ゴールデンパス」という意味が少しずつわかってきて、最後まで読んでしまいました。80歳になって、あと何年生きられるかわかりませんが、「人生で最高の本に出会えた!」と思っています。いろいろな本を読んでいる私ですが、この本に出会えて本当によかったです。心から感謝しています。他の本も読んでみたいです。(三重県・80代女性)

●私の人生に本当に必要な本です。夜になると、「今日はゴールデン

ンパスを歩めたか?」と、自分の心に問いかけるようになりました。

ありがとうございます。感動、感激、感謝です。(長野県・30代女性)

●新しい言葉がいっぱいあり、前に行ったり後ろに戻ったりしながら読みました。でも、この本に書かれている人たちは、自分の道をしつかりと歩んだのだと思えて、エネルギーを頂きました。東日本大震災では、呆然として、これからどうなるのかと考えることもありましたが、それでも前に進むしかなく、いろんな人と出会い、いろんなことをして、今日まで生きてこられたこと。これが私のゴールデンパスだったのかもしれないと思います。とても良い本で、何度か読み返したいと思っています。(宮城県・60代女性)

●心の使い方によって様々な現象が現れてくるこの世界。それをとももわかりやすく教えてくれる良い本ですね。精神世界の調和は、常に自分自身を見つめていないとできないことだと思えました。宇宙と共鳴するために、私も精進してゆきたいと思えます。(大阪府・60代男性)

●私自身、まさに心当たりのある事例の数々に、驚きと感動、納得の連続で、一気に読みました。そして、なぜか、すつきりとさわやかな気分になれたのでした。これからは、いかなる問題にも必ず光り輝く解決の道があることを信じて、残りの人生を豊かに歩みたいと思えます。(石川県・70代女性)

●この本を、これまでの人生、そして、これからの人生の道標にしたいと思いました。難しいところもありますが、それでも、へこたれずに何度も読み返し、自分のものにしたいたいと思っています。(新潟県・50代女性)

●以前から高橋佳子さんの教えに興味があり、講演会に行きたいと思っていました。残念ながら実現しませんでした。今回、『ゴールデンプラス』を拝読し、「コロナ禍でもまだできることがたくさんある!」
と読んできました。アクションプログラムがとても参考になり、行動してゆこうと思えました。私も青写真を描いてみます。感謝!(岐阜県・

●老々介護の日々です。本書を読んで、自分の人生を振り返ることは、今まで嫌だった義母やワンマンな夫と向き合うことだと実感しました。「家族を愛してゆきたい。そして、自分自身も愛してゆきたい」と思いながら過ごせるようになりました。(石川県・70代女性)

●この本に出会い、読むたびにすごく感銘を受けています。後ろ向きな気持ちから前向きな気持ちに変わり、日々の生活(仕事、家事、子育て)を頑張る意欲が湧いてきて、毎日生きていることに感謝しています。(新潟県・40代女性)

●「人はどのように生きていたらよいのか」が具体的に指し示されている素晴らしい本です。これが「魂の学」なんですね。ぜひ、周りの人たちにも「読んでいただきたいです。人生の師とも言うべき名著です！」(静岡県・50代男性)

●定年退職まで約20年間、会社のトップとして経営、社員育成に励んできました。そのときどきで反省をしていますが、今振り返れば、どれほどの後悔の日々だったでしょうか。「もし、あのとき、この本に出会っていたら……」と思うと、残念でなりません。(北海道・60代男性)

●宇宙と自然の法則がよくわかりました。最初から2〜3回読み直して、ポイントをつかんでゆきたいと思っています。素晴らしい内

容なので、知人にも紹介しました。(広島県・70代男性)

●私は、肺がんという大きな病になり、そこそそ平和だった自分の人生に深い亀裂が生じ、呆然とたちすくみました。でも、本書を読んで、この亀裂から明るいひとすじの光が射していることを教えられました。自分を愛し、自分に不足した生き方を問い直し、広大無辺の宇宙とつながって、自分の魂を輝かせたいと思うようになりました。この本に巡り合えたのも、「私にとってのゴールデンパスだったんだ」という気がしてなりません。ありがとうございます。(愛知県・

70代女性)

●絶体絶命と感ずることが続く私の人生に、勇気や希望、そして、言葉では言い表すことのできない何かを教えてください。完璧な人間などいないと感じ、少し肩の荷が下りました。(岩手県・40代女性)

●今まで、何か出来事が起こると、悪いようにしか考えられなかったのですが、この本には、自分の気持ち次第でゴールデンパスが見えてくると書いてあり、もっと前向きに生きてゆこうと思いました。ときどき読み返しています。この本との出会いに感謝です。(富山県・50代女性)

●難解なところもありましたが、本に出てくる方々が真摯に問題に向かう姿に、とても勇気をもらい、そして、結果として良い結果に持つ

てゆかれることに、闘病中のわが身にとつても、大きな希望を頂きました。1番心に残ったのは、「内外合うちそとあはらひ」の法則ほうそく」です。とても心惹かれる言葉でした。心と現実じゆんじつは密接みせつで強固きやうこにつながっている。相互さうごに多大な影響えいぎやうを与えている。私の心の中で思うことが、実際に作用さうごんとしていると思うと、「いい加減な自分のこの心の状態じやうたいでよいのだろうか。よいはずがない」と強烈きやうれつに感じた次第しだいです。(福岡県・50代男性)

●まさに、今の自分が必要ひつやうとしている本にやっと出会えました。今までの自分の考え方(思考のクセ)が、いろいろなることを実現じゆんじつできなくさせていたことがわかりました。本当は可能なことも、ずっと「できなら」と思ひ込んで生きてきてしまったような気がします。本

当にたくさんのことを考えさせられました。(山形県・40代女性)

●新型コロナウイルスの感染拡大で、わが社も売上が減少し、経営が大変です。この本に出会い、**どん底から立ち直るためのヒントが得られた気がします。**まず、現実を理解し、打開策たいげんさくを実行してゆきたいと考えています。まずは行動ですね。ありがとうございます。(北海道・

60代男性)

●**困難の中にも、必ず一条の光、ゴールデンパスはある。** コロナ禍の今こそ、多くの人々に読んでもらいたい内容だと思ひます。著者の他の本も読んでみたいと思ひました。(神奈川県・60代男性)

●素晴らしい本です。とても感動し、自信が湧いてきました。持てる以上の力に恵まれて、「これしかなかった」と思えるような最善の道を開くことを教えてもらいました。本書に出会えて最高です。(新潟県・

70代女性)

●京都の友人から教えてもらい、『ゴールデンパス』を初めて読みました。「魂の学」のことも知りませんでした。印象に残ったのが、「負けの中にもある道」「カオスの形を決めるのは私たちの心」「未来の現実のすべてが孕まれている」という言葉です。さらに、心打たれたのは、3つの「ち」の呪縛ということ。何となくわかっていたけれど、こんなに確かなものだったのかと驚愕しました。まずは、繰

り返し高橋佳子さんの本を読むことにいたします。なぜかワクワクするんです！とてもうれしいことです。もつと勉強したいと思い、出版目録にあった本を注文しました。(千葉県・80代女性)

●内容が濃く、豊富なので、少し読んだだけでも、すごく満足感があります。そして、私のような凡人でも、「あれが私にとってのゴールデンパスだったのか」と思えるような事柄があったことを思い出しました。これからも、心を磨いて、自分も他人も幸せにできる存在にな

りたいです。(富山県・40代女性)

●この本を読んで、自分自身の見方、現実至今已起こっている出来事の見方、他人に対する見方が、少し変わってきた気がします。何度か読み返して、「日々、しっかりと生活したい」と元気づけられました。(岩手県・50代女性)

●人生の中で、様々な試練や多くの問題を抱え、その都度、何とか乗り越えてきた経緯があります。このたび、『ゴールデンパス』を熟読し、振り返ってみると、私も何らかの助力に支えられてきたのかもしれないと気づきました。(神奈川県・70代男性)

The Golden Path



四六判並製 定価1,980円(税込)

(本書プロローグより)

絶体絶命の中に開かれる奇跡の道 高橋佳子著

ゴールデンパス

最新刊

ゴールデンパスとは、黄金の行路、輝ける道すじ——。
あるべきものがあるべきところに収まり、すべてを輝かせる道のことです。
「どうして実現できたのか、今でも信じられない」
「このやり方、この順序でなければ、絶対にうまくいかなかった」
まるで未来から逆算してすべての難所をクリアしてしまうように、
パズルのすべてのピースが見事にはまってしまうような道が現れるときがあります。

発行：三宝出版

2021年7月